

公立病院改革プラン点検・評価(平成24年2月時点)

(別紙)

団体名 (病院名)	紀南病院組合 (紀南病院)
--------------	------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	18年度			計画初年度		計画2年度		計画3年度	
		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (計画)	21年度 (実績)	22年度 (計画)	22年度 (実績)	23年度 (計画)	23年度 (見込)
収	1. 医業収益 a	3,784	3,529	3,306	3,475	3,378	3,594	3,574	3,676	3,353
	(1) 料 金 収 入	3,637	3,372	3,161	3,320	3,210	3,439	3,393	3,521	3,167
	(2) そ の 他	147	157	145	155	168	155	181	155	186
	うち他会計負担金	28	28	28	28	44	28	59	28	67
	2. 医業外収益	664	633	715	753	791	755	837	763	843
	(1) 他会計負担金・補助金	106	86	124	141	163	145	195	153	200
	(2) 国(県)補助金	10	10	40	38	44	38	49	38	53
	(3) そ の 他	548	537	551	574	584	572	593	572	590
	経 常 収 益 (A)	4,448	4,162	4,021	4,228	4,169	4,349	4,411	4,439	4,196
	入	1. 医業費用 b	3,989	3,768	3,680	3,834	3,640	3,826	3,703	3,844
(1) 職 員 給 与 費 c		2,310	2,235	2,205	2,294	2,177	2,306	2,227	2,321	2,217
(2) 材 料 費		882	750	725	747	711	747	723	757	690
(3) 経 費		439	426	429	461	425	459	442	459	455
(4) 減 価 償 却 費		295	286	260	263	263	245	248	238	238
(5) そ の 他		63	71	61	69	64	69	63	69	40
2. 医業外費用		668	631	614	596	622	591	632	586	645
(1) 支 払 利 息		103	95	79	74	73	69	68	64	65
(2) そ の 他		565	536	535	522	549	522	564	522	580
経 常 費 用 (B)		4,657	4,399	4,294	4,430	4,262	4,417	4,335	4,430	4,285
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 209	▲ 237	▲ 273	▲ 202	▲ 93	▲ 68	76	9	▲ 89	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)									
	2. 特 別 損 失 (E)									
	特別損益(D)-(E) (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	▲ 209	▲ 237	▲ 273	▲ 202	▲ 93	▲ 68	76	9	▲ 89	
累 積 欠 損 金 (G)	152	▲ 85	▲ 273	▲ 202	▲ 93	▲ 261	2	▲ 252	▲ 87	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	2,794	2,046	1,663	1,566	1,704	1,663	1,907	1,751	1,793
	流 動 負 債 (イ)	334	260	296	277	297	277	280	282	285
	うち一時借入金									
	翌年度繰越財源(ウ)									
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)										
差引 不 良 債 務 (オ)	▲ 2,460	▲ 1,786	▲ 1,367	▲ 1,289	▲ 1,407	▲ 1,386	▲ 1,627	▲ 1,469	▲ 1,508	
[(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)]										
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)	26	674	419	66	▲ 40	▲ 97	▲ 220	▲ 83	119	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	95.5	94.6	93.6	95.4	97.8	98.5	101.8	100.2	97.9	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	94.9	93.7	89.8	90.6	92.8	93.9	96.5	95.6	92.1	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	61.0	63.3	66.7	66.0	64.4	64.2	62.3	63.1	66.1	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	▲ 2,460	▲ 1,786	▲ 1,367	▲ 1,289	▲ 1,407	▲ 1,386	▲ 1,627	▲ 1,469	▲ 1,508	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
病 床 利 用 率	84.5	77.6	71.5	73.1	69.1	76.4	74.9	79.9	70.0	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」

団体名 (病院名)	紀南病院組合 (紀南病院)
--------------	------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(計画)	21年度(実績)	22年度(計画)	22年度(実績)	23年度(計画)	23年度(見込)
	18年度(実績)	19年度(実績)									
収	1. 企業債		60	95	66	23	20	50	120	50	50
	2. 他会計出資金										
	3. 他会計負担金		179	208	163	143	143	140	141	104	105
	4. 他会計借入金										
	5. 他会計補助金										
	6. 国(県)補助金		11		2	3	6		59		33
	7. その他					500	499	300	300	500	500
収入計 (a)		250	303	231	669	668	490	620	654	688	
うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (b)								27			
前年度許可債で当年度借入分 (c)											
純計(a)-(b)+(c) (A)		250	303	231	669	668	490	593	654	688	
支	1. 建設改良費		86	116	77	27	43	60	170	60	138
	2. 企業債償還金		313	469	313	282	282	244	281	171	360
	3. 他会計長期借入金返還金										
	4. その他			500	300	509	506	306	300	506	503
支出計 (B)		399	1,085	690	818	831	610	751	737	1,001	
差引不足額 (B)-(A) (C)		149	782	459	149	163	120	158	83	313	
補てん財源	1. 損益勘定留保資金		149	782	388	149	163	120	158	83	286
	2. 利益剰余金処分額				71						
	3. 繰越工事資金										27
	4. その他										
計 (D)		149	782	459	149	163	120	158	83	313	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入又は未発行の額 (F)											
実質財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(計画)	21年度(実績)	22年度(計画)	22年度(実績)	23年度(計画)	23年度(見込)
収益的収支	(28,000)	(28,000)	(28,000)	(28,000)	(0)	(28,000)	(0)	(28,000)	(0)
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
合計	(28,000)	(28,000)	(28,000)	(28,000)	(0)	(28,000)	(0)	(28,000)	(0)
	133,726	114,352	151,841	164,909	207,704	173,257	253,928	181,321	266,511
	178,617	207,802	162,623	142,591	142,592	140,243	140,920	103,979	104,689
	312,343	322,154	314,464	307,500	350,296	313,500	394,848	285,300	371,200

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

点検・評価

料金収入は、慢性的な医師不足により、診療体制縮小せざるを得ず、入院外来とも患者数減しているため計画値に達していない。

(23年度は、長年当院内科副院長として勤務していた医師が、近隣へ開業したことによる外来患者減が大きく影響)

DPCの検証強化し、診療報酬請求精度向上等により、入院外来とも1患者単価は増となっている。

材料費等(特に薬品費)は、患者数減の影響もあるが、ジェネリックへの変更、ベンチマーク等の活用により削減となっている。

常勤医師を確保することが最重要課題であり、医師の確保対策を強化する。

24年度診療報酬改定の動向によるが、新たな診療報酬加算を積極的に取得する。

経費節減に向けての取り組みを継続して行う。

プラン・実績(見込)詳細

別紙の通り